



1 部会名

学びに向かう学級づくり部会

2 研究テーマ

学級に主体的に関わっていける子どもを育てるためのアプローチ

3 研究の取組

(1) 研究内容

「児童生徒が主体性を発揮する学級づくり」について研究する。

<研究の視点>

- ・学級の中で児童生徒の主体性を育むために、どのような児童生徒への働きかけや手立てが必要かを考え、実践し、その成果と課題を検討する。

<具体的な取組>

- ・学級の実態や取り組んだ実践、課題について情報を共有し、児童生徒の主体性との関連を考える。
- ・各学級での実践を共有し、児童生徒の主体性を育むための具体的な視点や取組について検討する。

(2) 研究計画

月 日	研修内容	月 日	研修内容
5月9日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	11月21日	研究テーマ・内容の協議
6月30日	研究テーマ・内容の協議、計画作成	2月6日	1年次のまとめ
10月9日	研究テーマ・内容の協議	2月20日	1年次報告提出

4 研究の成果と課題

【成果】

- ・研究テーマの方向性を確認することができた。
→児童生徒が主体性を発揮するためには、「目的意識」「クラスへの帰属意識」「リーダー育成」などの要素が必要なのではないか。
- ・児童生徒の主体性を伸ばすための取組について実践の共有ができた。
(行事でのリーダー育成、学級で目標を共有・確認する方法、目的意識をもたせる手立て)

【課題】

- ・「主体性」とはそもそも何かを明確にしていく必要がある。
- ・主体性を伸ばしていくために、目的や目標、手段、成果をどのように見える化し、子どもたちの自覚や実感につなげていくか。
- ・行事等で培われた主体性やできるようになったことを日常生活にどうつなげて生かしていくか。

5 さらに研究していきたいこと・次年度の構想

以下について、年度初めから意識して実践を重ねていきたい。

- ・行事等を活用しながら、目標（目的）をしっかりと設定し、達成に向けて児童生徒が主体的に取り組んでいけるような教師のアプローチを考えていく。（目標の設定、リーダーの設定・育成、手段や方法を児童生徒が考え実行→できたことを「見える化」）
- ・主体性をどのように日常生活でも生徒が意識していけるか（落とし込めるか）を考える。
- ・主体性について、教師が求めるイメージと子どもがもつイメージを明確にしていく。